

入曽駅周辺整備事業についてご存じですか？

ご覧いただきありがとうございます！

発行：入曽まちづくりの会(2021.11.17)



すぐ乗れる 電車が見える東口



段差なし 完全バリアフリーの西口

橋上駅舎化により、 現在の改札口はなくなってしまう

- ・ 駅南側からは **200m以上と大幅に遠く**なり、
(→電車10両以上の距離)
普通の家の **3階分の上下移動**が発生する
- ・ 駅舎建て替えは **全額狭山市が負担**(約40億円)

駅前への自動車流入対策が不十分です

- ・ 商業施設からの **車が増えて危険になる**

◆ どうすべきと考えているの？ <入曽まちづくりの会の立場>

★ **そもそも駅そのものがバリアフリー対応済で造り直す必要はありません**

★ **駅周辺の通学路整備、踏切拡幅、駅南東側へも駅前広場設置、商業施設からの車両流入防止等の安全対策が必要**と考えます。 →→詳しい問題点は裏面へ！

● 事業の進め方はどうなのでしょう？

→他のまちでは住民参加型のまちづくりが行われていますが…

● 説明会参加者は626人で、入曽地区の**わずか1~2%**です。その内、508人(81%)が賛成と言われますが、**34,500人(98%)の要望・意見・賛否は聞いていません。**

※説明会があった2018年2月時点の入曽地区人口比(35,126人)

● **事業は多岐にわたり、「賛成」、「反対」で単純に採決できる問題ではありません。**

説明会参加された方も、十分な情報を知らされずに賛否を採ったこと納得していますか？

◆入曽まちづくりの会：呼びかけ人-田中 壽雄(080-9975-1972)、阿部研也(080-5659-9836)
/Email: irisomachi@gmail.com *入曽まちづくりの会は“入曽駅周辺整備事業”をきっかけに入曽地区住民が整備事業と一緒に考えようと集まったグループです。 よろしくおねがいします。

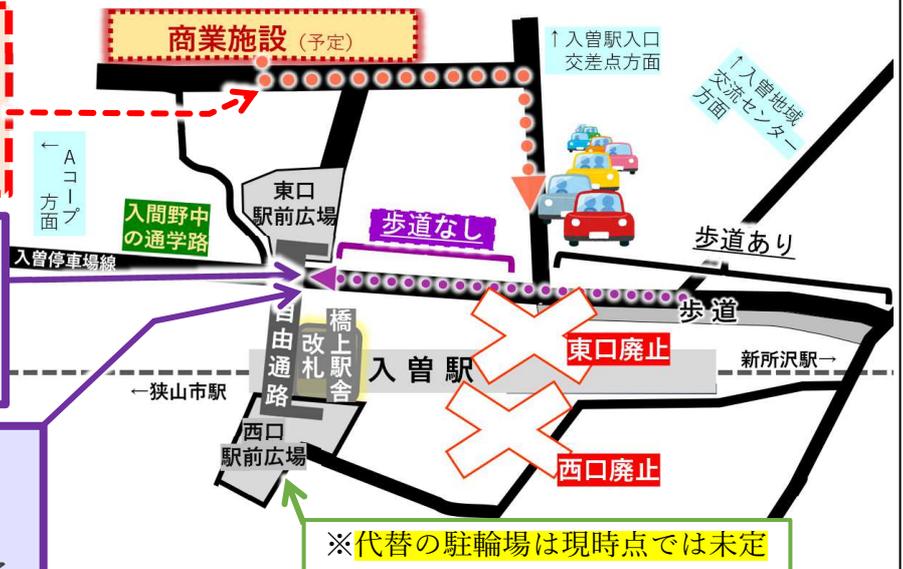
1. 安全性の問題 〈説明会・自治会への説明でも触れていません〉

- 「入曽駅周辺整備事業」は歩行者、自動車などの安全性向上が第一目的です。しかし、情報開示請求等の資料により以下の問題が明らかになりました。

・自動車来店型の商業施設新設で
交通量が増え、統計的にも
事故増加が懸念される

・橋上駅舎化で**今まで車道を通らず改札口へ行けた**
駅利用者が行けなくなる

・駅南側からは駅前広場に入れず
通学路に自動車が集積し
危険性が増すことが懸念される



→当たり前といえば当たり前ですが、
周辺道路の危険性は駅舎整備で解決できるものではありません。

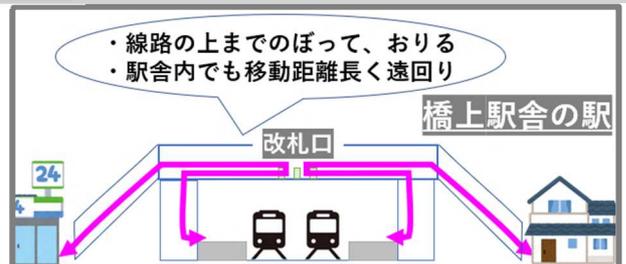
2. 存続要望が多い現在の改札口閉鎖

- 「現在の改札口を残してほしい」という要望が説明会・パブリックコメントで多数出ました。
- 入曽地区の自治会の約30%から公式に要望が出ており、中には3回も出した自治会もあります。(公文書情報開示請求による)



3. 利便性が低下する橋上駅舎化

- 駅舎内の移動距離が長くなる(約100m)ため一見近くなると思われる**駅北側からも近くなりません**。むしろ階段等の昇り降り(普通の家の3階分)でより時間がかかります。



4. 厳しい財政状況の中、多額の出費

- **駅周辺の踏切や通学路も未整備**です。一方で鉄道会社に負担を求めず市税約40億円をかけ、**西武鉄道に駅舎を無償供与**することでよいのでしょうか？
(参考:入曽駅周辺の道路や駅前広場の整備約20億円)
- 経費節減のため、狭山市では小中学校や保育園統廃合が行われています。その中、橋上駅舎化に約40億円投じる意味(メリット)はあるのでしょうか？

◆「もっと聞きたい!」「ここが疑問に思う!」という方は訪問もいたします。署名も開始します。皆さんの疑問にQ&A等で応えていきたいです。

Twitter→

